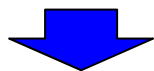


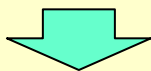
想定されるリスクへの対応策

河川水質汚濁時のリアルタイム情報提供

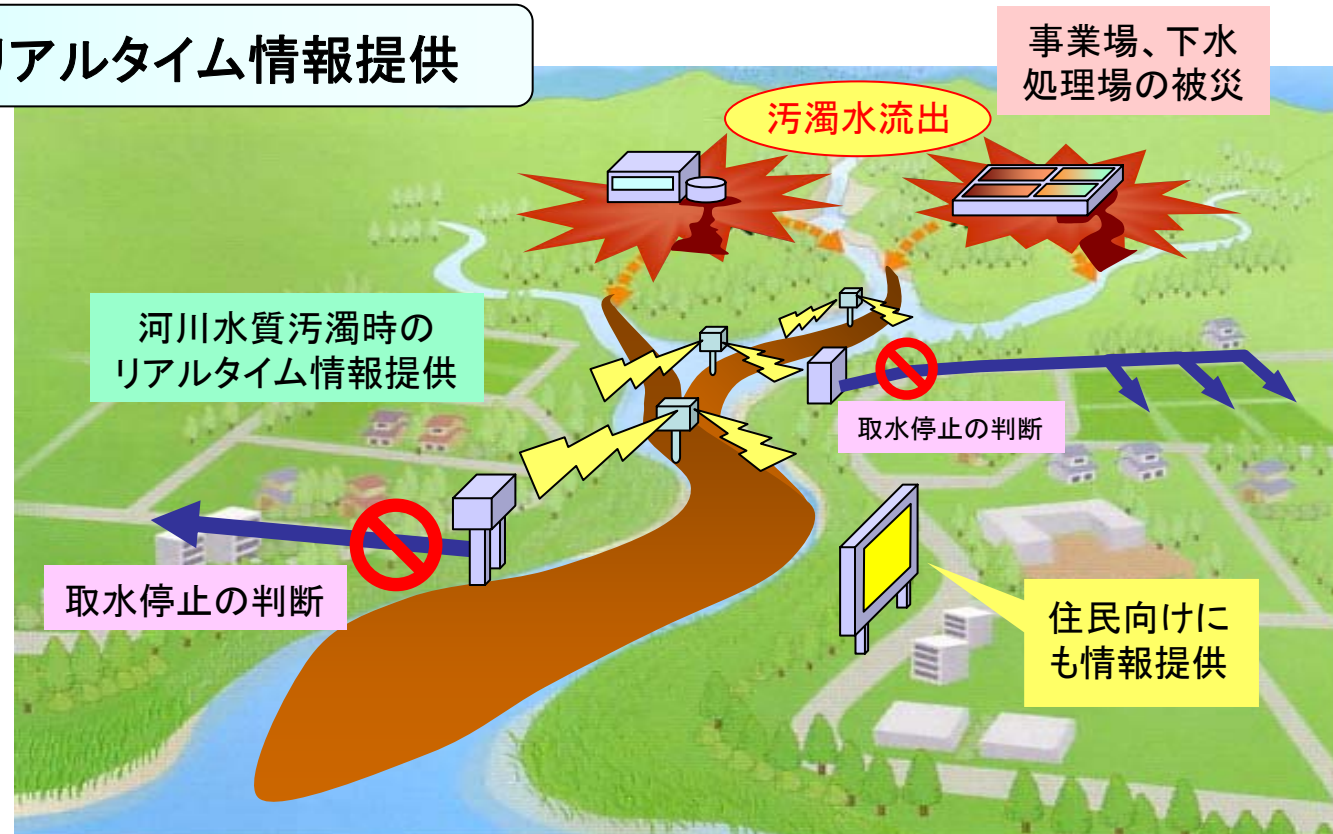
- ・河川水質の状況を、水道事業者等関係機関、沿川地域住民等に対し適切に情報提供することが有効



水質自動監視装置
等による常時観測



- ・関係機関との一層の連携強化
- ・リアルタイムの情報提供
 - インターネット
 - 携帯電話
 - 電光表示板 等



水質自動観測装置



様々な情報提供方法



電光表示板



インターネット等

想定されるリスクへの対応策

地下水(井戸・湧水等)・雨水の活用

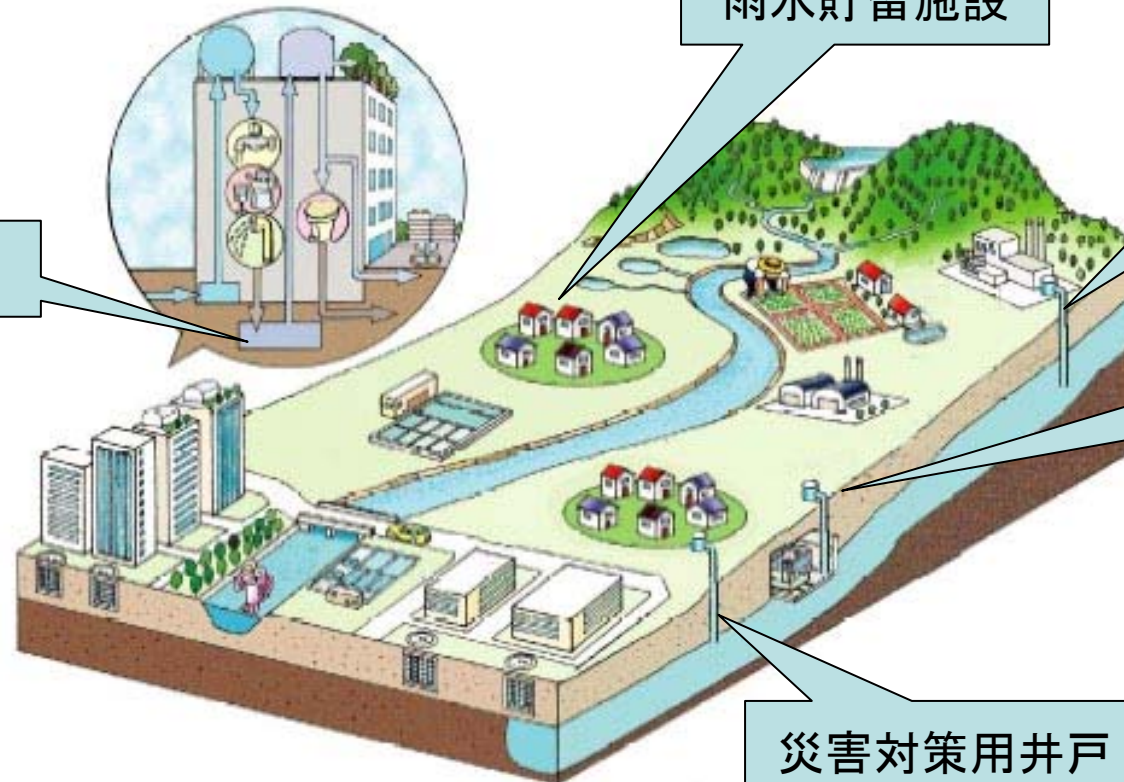
●災害対策用井戸・災害時協力井戸の整備、地下鉄トンネル内の湧水の活用、雨水貯留施設の普及推進が考えられる。



雨水貯留施設



災害時協力井戸



雨水貯留施設

地下鉄トンネル内の湧水

災害対策用井戸



想定されるリスクへの対応策

下水道管きよを利用して河川水や海水を引き込み，消火用水等として利用

●地震発生直後に多量に必要とされるに消火用水に対して，下水管きよから河川水または海水を取り込み，消火用水等として活用する。



新設海水取水口



城門放流幹線水門



海神小内海水取水口

(第1回検討委員会資料：船橋市ホームページより)

想定されるリスクへの対応策

都市内水路や再生水等を活用した緊急時の雑用水確保

●避難所周辺の都市内水路を緊急時の雑用水に活用する。



●下水処理水の再生水を、緊急時の雑用水に活用する。

